（別紙4-2）

事業所名： グループホームあじさい　1階ユニット
作　成　日： 平成　29年　12月　20日

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	自然災害時のマニュアルは作成されているが自然災害を想定した訓練がされていない。	水害、地震、ライフライン寸断による停電等を想定した訓練を策定し行う。	自然災害時の避難方法や手段の策定と避難場所の確認、連絡の訓練。	6ヶ月
2	35	利用者様のケアのあり方で悩んだ時に職員があじさいの理念に沿って考える事ができずに自己流の判断になってしまう事がある。	あじさいの理念に沿って判断しケア方針を統一する。	あじさい理念及びケア心得11か条をミーティングに確認しケア方針について検討する際はケアマネ、介護リーダーに報告、相談するよう周知する。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、医療関係者とご家族と施設と話し合っているが、施設でできる事に限りがあり、重度化した際に当利用者様の担当医との連携がどれだけ図れるかによりご利用者様の重度化されたときの支援が左右されてしまう。	施設と担当医と連携を図りご利用者様が重度化した際についてご家族様にとっての支援の選択肢が増える。	管理者、ケアマネをはじめとし医療と連携を図り情報共有し重度化した際にはご家族様の望む支援を実現する。	6ヶ月
4	26	チームカンファレンスを通しケアプランが立案されているが、実際の利用者様や家族の言葉が反映されたケアプランが少ない。	利用者様、家族の想いや言葉を反映させたケアプランにする。	利用者様の言葉や家族の想いをよく聞き取り利用者ニーズを具体的にケアプランに記載する。	6ヶ月
5	46	レクリエーション活動、各利用者様の能力に応じたお手伝いもワンパターンになり、お手伝いしていただける利用者様も限定されてきている。	利用者様の残存能力を活かした活動を増やす。	新しいレクリエーション活動やお手伝いを取り入れる。	6ヶ月

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

（別紙4-2）

目標達成計画

事業所名： グループホームあじさい 2階ユニット

作 成 日： 平成 29年 12月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として昼夜を想定して火災訓練を行っているが、水害や地震を想定しての訓練はあまり行っていないとの意見があった。	火災訓練だけでなく水害・地震に備えた訓練を行い、その時々で全職員が適切な避難方法を身につけられる。	旭川市のハザードマップなどの再確認と、避難訓練の実施。	1年
2	35	避難時に利用者様の個人情報を記入したプレートを作り首から掛けたらどうかとの意見があった。	避難された方から順にプレートを掛ける事により、まだ避難されていない方も分かり、またご家族に連絡することもできるので作成する。	姓名・生年月日・緊急連絡先・既往症・係りつけ医・服用している薬などを記入する。	1年
3	10	ご家族からの意見や要望は常時受け付けているが、ご家族の高齢化・就業などにより、家族会や運営推進会議で意見を寄せて頂くご家族が減少傾向にある。	面会に来られた際、ご家族とお話する機会を更に増やす。	利用者様の近況報告・プランの説明をすると共にご家族からの意見・要望・不満など傾聴する。	1年
4	34	急変や事故発生に備えこれまで以上に全職員が冷静かつ適切な対応ができるようにする。	日々の生活の中で体調や様子に変化がないか見極め、職員間での情報の共有と対応の仕方についての相談。	一人ひとりの血圧・体温・サーチなどの平均を把握し、緊急時の対応マニュアル・救命講習で学んだ初期対応の仕方を生かし、冷静な状況判断と適切な対応ができるよう心掛ける。	1年
5	7	虐待のないよう全職員で研修に参加したり、所内の月初会議においてもケア会議を行い、注意喚起を促している。	今後も虐待のないよう注意喚起の継続。	研修会への参加、ケア会議での復命書の提出、所内での虐待を見過ごすことのないよう注意を払い、防止に努める。	1年

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。